

## 第2類医薬品

この添付文書は必要な時に読めるように大切に保管し、服用の際には必ずお読みください。

## 漢方製剤



## JPS 漢方顆粒-31号

大柴胡湯は体力があり、脇腹からみぞおちあたりが苦しく、便秘傾向の方の肥満症、胃炎、高血圧や肥満に伴う肩こり・頭痛などを改善します。胸部から腹部にかけての緊張をゆるめ、炎症を鎮め、便を排出させる働きがあります。

本剤は漢方処方である大柴胡湯の生薬を抽出し、乾燥エキスとした後、服用しやすい顆粒剤としました。



## 使用上の注意



## してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください  
生後3ヵ月未満の乳児。
2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください  
他の瀉下薬(下剤)
3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください



## 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
(1)医師の治療を受けている人。  
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。  
(3)体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。  
(4)胃腸が弱く下痢しやすい人。  
(5)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

下痢

4. 1ヵ月位(常習便秘、高血圧や肥満に伴う便秘に服用する場合には5～6日間)服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

### 〔効能・効果〕

体力が充実して、脇腹からみぞおちあたりにかけて苦しく、便秘の傾向があるものの次の諸症：胃炎、常習便秘、高血圧や肥満に伴う肩こり・頭痛・便秘、神経症、肥満症

### 〔用法・用量〕

次の量を食前又は食間に水又はお湯にて服用してください。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人（15 才以上）	1 包	3 回
7 才以上 15 才未満	2 / 3包	
4 才以上 7 才未満	1 / 2包	
2 才以上 4 才未満	1 / 3包	
2 才未満	1 / 4包	

### 〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2)1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。
- (3)食間とは食後2～3時間を指します。

### 〔成分・分量〕

3包(6.0g)中

大柴胡湯エキス(4 / 5量)3.6gを含有しています。

日局サ イ コ …… 4.8 g	日局ハ シ ギ …… 3.2 g
日局ショウキョウ …… 0.8 g	日局オ ウ ゴ ン …… 2.4 g
日局シャクヤク …… 2.4 g	日局タ イ ソ ウ …… 2.4 g
日局キ ジ ツ …… 1.6 g	日局ダ イ オ ウ …… 0.8 g

上記生薬量に相当します

添加物として、ショ糖脂肪酸エステル、ステアリン酸Mg、乳糖水和物を含有しています。

### 〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4)本剤は吸湿しやすいので、1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返してテープ等で封をし、なるべく1日以内に服用してください。(開封状態で置いておくと顆粒が変色することがあります。変色した場合は、服用しないでください。)
- (5)本剤は生薬(薬用の草根木皮等)を原料として使用していますので、製品により色調等が異なることがありますが、効能・効果には変わりありません。
- (6)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めのお店  
あるいは下記にお願いいたします。

ジェービーエス製薬 お客様相談室

電 話 045-593-2136

受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構

[http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/index.html](http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html)

電話 0120-149-931(フリーダイヤル)



ジェービーエス製薬株式会社

製造販売元 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台196-1

発 売 元 横浜市都筑区東山田4-42-22